

## 芸術的な高校入試第 22 回

美しさ：★★★★☆☆

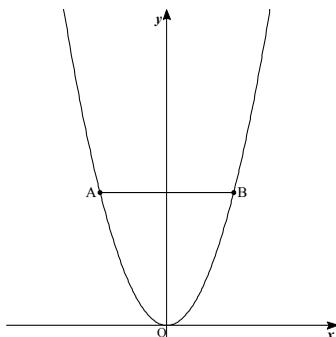
難易度：★★★★☆☆

出典：2020 年度 都立西高校

図 1 で、点  $O$  は原点、曲線  $f$  は関数  $y = ax^2$  ( $a > 0$ ) のグラフである。

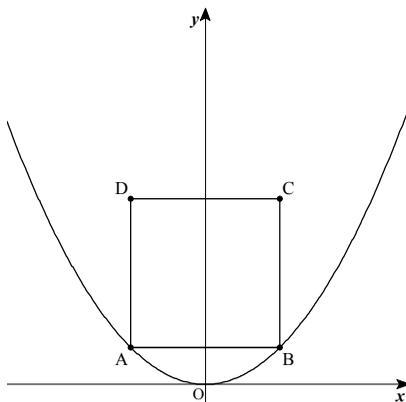
2 点  $A, B$  はともに曲線  $f$  上にあり、点  $A$  の  $x$  座標は負の数、点  $B$  の  $x$  座標は正の数であり、点  $A$  と点  $B$  の  $x$  座標の絶対値は等しい。点  $A$  と点  $B$  を結ぶ。点  $O$  から点  $(1, 0)$  までの距離、および点  $O$  から点  $(0, 1)$  までの距離をそれぞれ  $1 \text{ cm}$  として、次の各問に答えよ。

図 1



問 1 図 2 は、図 1 において、 $a = \frac{1}{2}$ 、点  $A$  の  $x$  座標を  $-1$  とし、四角形  $ABCD$  が正方形となるように  $y$  座標はともに正の数となる点  $C$  と点  $D$  をとり、点  $B$  と点  $C$ 、点  $C$  と点  $D$ 、点  $D$  と点  $A$  をそれぞれ結んだ場合を表している。2 点  $B, D$  を通る直線の式を求めよ。

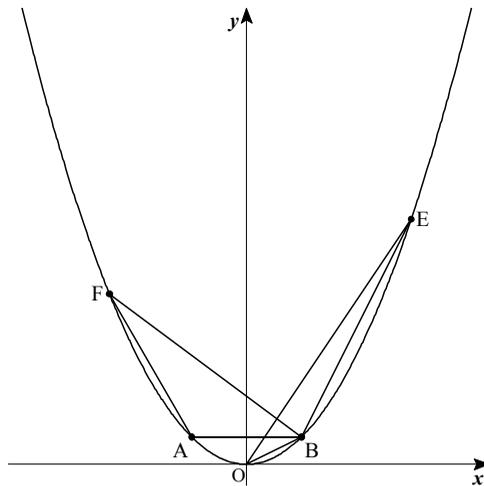
図 2



問2 図3は、図1において、点 A の  $x$  座標を  $-1$  とし、点 E は曲線  $f$  上にあり、 $x$  座標が  $3$  となる点とし、点 F は曲線  $f$  上にあり、 $x$  座標が負の数で、 $y$  座標が点 A の  $y$  座標より大きい点とし、点 O と点 B、点 B と点 E、点 E と点 O、点 B と点 F、点 F と点 A をそれぞれ結んだ場合を表している。

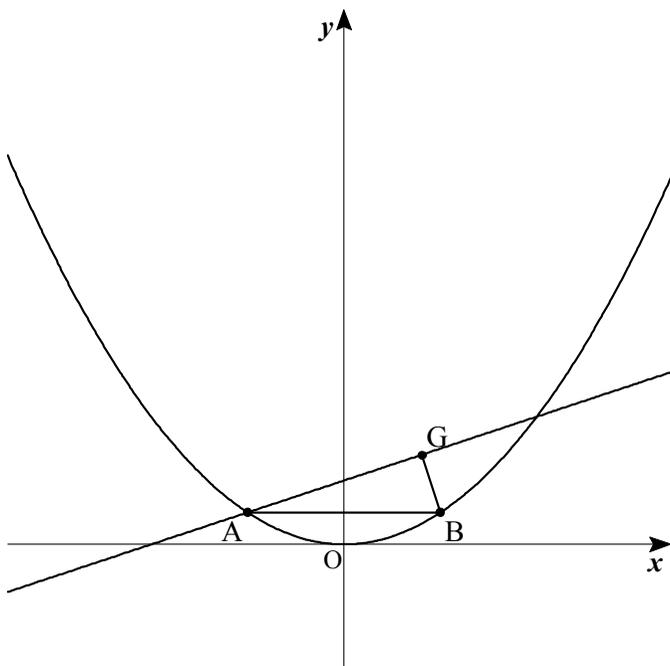
$\triangle BEO$  と  $\triangle ABF$  の面積が等しくなるとき、点 F の  $x$  座標を求めよ。ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

図3



問3 右の図4は、図1において、点Aを通り、傾きが曲線 $f$ の式における比例定数 $a$ と等しい直線を $l$ とし、点Bから直線 $l$ に引いた垂線と直線 $l$ との交点をGとし、点Bと点Gを結んだ場合を表している。点Aの $x$ 座標が $-\sqrt{7}$ 、 $\triangle ABG$ の面積が $7\text{ cm}^2$ のとき、 $a$ の値を求めよ。

図4





**【解答例】**

## 問 1 (7 点)

正方形の対角線なので、BD の傾きは  $-1$

$B(1, \frac{1}{2})$  だから、求める式は、

$$y - \frac{1}{2} = -(x - 1) \quad \mathbf{y = -x + \frac{3}{2}}$$

## 問 2 (10 点)

$A(-1, a)$   $B(1, a)$   $E(3, 9a)$  と表せる。

直線 OB の傾きは、 $a$  となるから、点 E を通り直線 OB に平行な直線の式は、 $y - 9a = a(x - 3)$   $y = ax + 6a$

$G(0, 6a)$  とすると、 $\triangle OBE = \triangle OBG$  (等積変形) だから、 $\triangle OBE = \triangle OBG = \frac{1}{2} \times 6a \times 1 = 3a$

$\triangle ABF$  において、AB を底辺とした高さを  $h$  とすると、

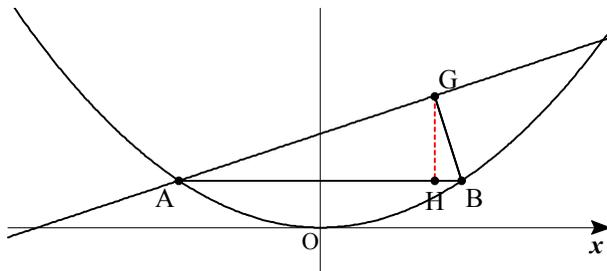
$$\frac{1}{2} \times 2 \times h = 3a \quad h = 3a$$

したがって、F の  $y$  座標は  $a + 3a = 4a$  となる。

$y = ax^2$  に代入し、 $4a = ax^2$   $a \neq 0$ ,  $x < 0$  だから、 $x = -2$

F の  $x$  座標は  $\mathbf{-2}$

問3 (8点)



G から AB に垂線を下ろし交点を H とする。

<解法 1 一般的>

$AB=2\sqrt{7}$  cm で、AB を底辺としたとき、 $\triangle ABG$  の高さは、 $\sqrt{7}$  cm である。

$AH=t$  とすると、 $\triangle AHG \sim \triangle GHB$  だから、

$$AH : GH = HG : HB$$

$$t : \sqrt{7} = \sqrt{7} : (2\sqrt{7} - t) \quad \text{これを解いて、} \quad t = \sqrt{7}$$

$$a = \frac{GH}{AH} = \frac{\sqrt{7}}{\sqrt{7}} = 1$$

※ $\angle G=90^\circ$ 、 $AB : GH=2 : 1$  の時点で、 $\triangle GAB$  が直角二等辺三角形と気づく人もいるらしい。気づいた瞬間、 $\angle GAB=45^\circ$  と分かるので、傾き 1 <その説明>

$AB=2x$ 、 $GH=x$ 、 $AH=t$  と置くと、先ほどと同様に $\triangle AHG \sim \triangle GHB$  だから、

$$t : x = x : (2x - t) \quad x^2 = -t^2 + 2tx \quad x^2 - 2tx + t^2 = 0 \quad (x - t)^2 = 0 \quad x = t$$

となり、 $AH=HB=GH$  となるから、直角二等辺三角形。知っておくと便利？

### 【コメント1】

実は問3は、2012年埼玉県高校入試で同じ問題が出題されています。首都圏だったら、解いたことあるかも？ちなみに、昔このサイト

<https://hokkaimath.blog.fc2.com/blog-entry-34.html>

で悪問認定しています

「曲線の比例定数  $a$  と同じにする」問題を解く上ではどうでもいいことです。(問題を解く上で「同じ」という条件は一切使わない)

単に「直線の傾きを求めよ」で良い気がします。どうしてわざわざこんな文面を書いたのでしょうかね。

### 【コメント2】

都立西受験生なら、

傾き  $a$  で、点  $(p, q)$  を通る直線の式は、

$$y - q = a(x - p)$$

というのは、当たり前知っているのでしょうか.....。

問2で当たり前のように使っています。知らなかったら、 $y = ax + b$ として、 $E(3, 9a)$ を代入し、 $b$ を $a$ で表しましょう。そんなに難しくない。

### 【コメント3】

問3 適当に  $a=1$  で書いて当たった受験生多そう。

### 【作成】

高校入試 数学 良問・難問 <https://hokkaimath.jp/>